

Assumption



聖母被昇天学院 学院報

Kindergarten
Primary School
Junior & Senior High School

No.18

2013.3.14



寒い冬も元気いっぱいの思い出づくり



重たい“きぬ”を持って大活躍の園児たち

全園児
おもちつき
1月11日(金)

みんなで力を合わせて
ペツタン、ペツタン

の「よいしょ！よいしょ！」のかわいい掛け声が寒空に響き渡り、お餅をついてくださるお父さまも力が入ります。

真冬の山を直滑降
汗びっしょりで遊んだ不
幸

六甲山での雪そり遊びは、年長児が毎年楽しみにしている行事です。寒くないよう、モコモコのスキーウエアに身を包んだ子どもたちが雪山に大集合。山を何度も何度も滑っては駆け上がり、大好きな雪そり遊びに挑みます。

年長児
雪そり遊び
1月29日(火)



遊びに慣れてくると、お友だちのそ
りと連結したり、スピードができるよう
になつたり、ブレーキも上手に掛けら
れるようになります。今年は太陽の光が眩しくらいお天気も
よく、いつのまにか全員汗びっしょ
り。卒園を前にまた一つ素敵な思い出
ができました。



全園児
なかよしコンサート
2月8日(金)

笑顔の音符が踊る
100点満点の音楽会

毎年、子どもたちが楽しみにして
いるおもしつき。今年もたくさんのお父
さま、お母さまにお手伝いいただき、
楽しい1日となりました。早朝から
園庭に集まつた園児たち。子どもたち

子どもたちも実際に杵を持つてお
餅をついてみると、「重い！」と言
ながらも顔はニコニコ。できあがった
お餅は、お母さまが「お雑煮風」にして
くださいました。みんなで力を合わせ
てついたお餅は、最高においしかった
です。

満3歳児から年長児までの縦割り
で、2クラスがひとつチームになつ
て「なかよし」「楽しく」「元気いっぱ
い」音楽に取り組みました。



お客様の前
で成果を十分に発揮できました。な
かよしコンサートを通して、先生や子
どもたち同士の関わりがさらに強
くなり、深い絆が生まれたようす。



みんなの心が一つになった
楽しいコンサート

目で見て、心で感じてください 子どもたちの大きな成長を



6年生「天地創造」



3年生「生きる力」



（ASA）が企画し、アサンプションカリーバルや姉妹学級交流会をしていきます。とくに姉妹学級交流会では、高学年は自分たちだけではなく、低学年がどうしたら楽しく遊べるかを考え、実行しています。今年度は4月13日に行われた、桜の木の下でお弁当を囲む

学年が上がつてもみんな仲間、なかよしだよ！

姉妹学級交流会（ASA児童会活動）
2月15日（金）

『桜の会』を皮切りに、水遊びやハロウインパーティー、やきいも大会などさまざまな行事がありました。

そして、いよいよ最後の交流会は、姉妹学年と学校外で遊び、学校内でASA児童会が作った白玉入りぜんざいをみんなで食べる行事を予定していましたが、当日はあいにくの雨で体育馆や教室に分かれて遊ぶことになりました。1年間ですっかり打ち解けた子どもたち。急な予定の変更にも関わらず、低学年は高学年をお姉ちゃん呼び、本当の姉妹のような信頼関係で、なかよく楽しく遊び、交流を深めることができました。

き、各学年の誰もが素晴らしい作品を、ぞれぞれのバランスを取りながら『希望の星』と書きました。

入選作品は校内の「書き初め展」で紹介しました。



みんなで遊ぶと楽しいね



思い出をいっぱい携えて未来に向かって羽ばたけ

ひとつの風船がつないだ
緑を大切に交流が深まる

「風が結ぶ夢友情クリスマス交流会」
12月19日(水)



楽しかった学校生活
私たちは忘れない

昨年9月の学院祭で飛ばした風船を拾ってくれた子どもたちのいる篠山市立篠小学校を本校の生徒会執行部とハンドベル・聖歌隊が訪問しました。お手紙をいただいたとき、風船につけたはずのなでしこの種がないことを知った生徒会執行部が、みなさんに会って種を手渡したいとの思いから実現しました。

当日は雪がちらつく寒さでしたが迎えてくれた全校児童22名は元気いっぱい。生徒会長・尾山智恵美さんのお接拶、学院祭実行委員長・桝本京佳さ

んからなのなでしこの種の贈呈に続き、畠小学校からも篠山市の御岳中腹に群生する絶滅危惧種クリン草の種をいただきました。

クリン草となでしこの種を交換花が咲いたらまた会おうね!

山が雄大な姿を見せてくれました。冬期に3日連続できれいに見えるのは奇跡だそうです。協力し合ってがんばった生徒たち。最終日にはリフトで山顶まで上がったグループもあり、笑顔で滑ることができました。

4日目は歴史的建造物が並ぶレトロな街・小樽で、ガラスコップサンドブラスト体験や市内観光を行いました。運河沿いにある大正ロマン溢れる宿も生徒たちに大好評。最終日は札幌への移動の前にカトリック富岡教会で祈りの集いを行い、この旅行でかけがえのない友情と絆を深められたことに感謝しました。

4月からよいよ最終学年。壮大な自然の中で感じた思いを忘れず各々の使命を見出し、自分らしい進路に歩んでいく準備の年となりますように。

第48回高等学校卒業式
2月21日(木)

さあ、踏みだそう!
次のスタートライン

聖堂で学院生活最後となる第48期生の『卒業感謝ミサ』が、厳かな雰囲気で行われ、ダニエル神父様から一人ずつ祝福を受け、愛の溢れる聖堂で祈りの時を持ちました。

講堂に場所を移し『第48回卒業証

書授与式』が行われ、平沢真人校長から卒業生一人ひとりに卒業証書が授与されました。また、小学校1年生から高校3年生まで12カ年皆勤した瀬瀬有香さん、中高6カ年皆勤の宮本紗也加さんははじめ、3カ年皆勤10名、精勤賞6名に賞状がおくられました。学院での学びを糧に、新しい世界への巣立ちの時が来ました。



北海道修学旅行(高校2年生)
1月21日(月)～25日(金)

最終学年への決意を新たに
充実した5日間の旅



最初の3日間はニセコでスキー講習を受けましたが、連日快晴で、羊蹄

聖母被昇天学院 今昔物語

No.3

外観・聖堂編

本学院は2014年度に創立60周年を迎えます。

このコーナーではその記念すべきタイミングにあわせ、
学院のさまざまな特徴を歴史とともに振り返っていきます。

外観



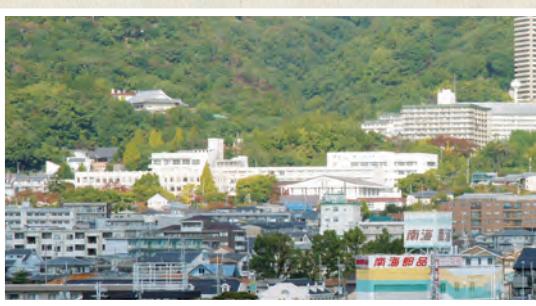
1955年頃

山側から撮影した小学校の校舎です。幼稚園の園舎の塔も見えています。学院北側の道はまだありません。周囲も全くの田園風景で、民家がちらほらと見えるだけです。現在の様子と引き比べて隔世の感があります。



1964年頃

中高校舎が完成した1964年頃の校舎全景を南側から撮影したものです。学院の南も一面の田園。山懐に抱かれ、緑の中にたたずむ学院の姿です。緑に映ゆるやまなみの麓にそびえる白亜こそ」と、中学校高等学校校歌に歌われた姿そのままの様子がしのばれます。



現在の外観

国定公園である箕面の山なみは昔の姿を残していますが、学院の北に山麓線が通り、ところどころに背の高い建物が建ちました。学院の南側はすっかり建てこんで、昔日とは面目を一新しています。北校舎ができ、新しい体育館と聖堂が加わった学院も姿を変えました。創立以来の変わらない理想の上に、これからも新しい伝統が築かれていきますように。

聖堂



創立間もない頃

学院の最初の建物である旧幼稚園の園舎です。幼稚園は現在の場所に移動するまでは、現在の第2体育館の場所にありました。お話を聞くなかわいいらしい尖塔のある赤い屋根の建物でした。シスター方が過ごされる修道院も、この建物の中にあったのです。一番最初の聖堂も、この園舎の中の一部屋でした。以来現在に至るまで、聖堂は学院の中心であり続けています。



1976年頃の旧聖堂前

旧聖堂は旧修道院と短い渡り廊下でつながっていました。屋根には天窓があり、御聖体に陽の光が当たるように工夫されていました。屋根には十字架が掲げられています。南側には美しい庭がありました。



現在の聖堂

二階建ての堂々とした建物になりました。建物が変わっても、学院の精神の中心は、今も変わらず聖堂にあるといえます。それを表すように、聖堂は日々静かに学院を見守っています。

卒業生の歩み



佐島 美樹さん(30期生)



S a j i / サジマミキ

中学校高等学校卒業。京都精華大学デザイン科ティキスタイルデザイン専攻卒業。卒業後短期遊学したフランスで文化や生活に触れ、特にパリで出会ったアンティークに興味をもちはじめ、現地の素材や切手などをを使ったコレクションを作り始める。現在東京を拠点に、TOYOTA2013カレンダー、テゴマス3rd album「テゴマスのまほう」CDジャケットアートワーク、NHK BS番組タイトルパッケージ、その他、広告や雑誌、ステーショナリーなど幅広く活動している。
HP→<http://www.sajimart.net>

や考えに對して間違いを注意されることはあつても、生き方そのものは否定されなかつたので、何にでも自由にトライできました。

芽生えはじめてきた頃だったの
で、おもしろくなつて感想文や意
見を熱心に書きました。シスター
が赤ペンで書いてくださるメッ
セージが嬉しくて、今もそのノー
トは大切にしています。さまざま
なことから新しい自分を発見で
き、考えることが本当に楽しかつ
たです。現在につながる自分の人
間性の“軸”を育んでくれたよう
な授業でした。

のびのびと過ごせた中高時代がイラストレーターとしての自由な創作活動を育んでくれた

始まりは大好き
お絵描きだった

——東京を拠点にイラストレー

のCDジャケットなど、手がけた作品は数知れず。彼女の才能を開

り、独特の空気感も心地よかつた
です。

——印象的な授業や先生、システム等は?

自主性を持つて勉強する
大切さを学んだ

——一部活やその他の活動、勉強の両立で工夫したこととは？

でき、世界が広がつたのもこの頃で、いろいろな思い出が詰まっている部屋です。当時、窓にカーテンがなく殺風景だったので、家から布を持ち込んでカーテンを作りました。カーテン越しにさしこむ陽射しが気持ちよくて、窓辺の古いソファーに座つてやる気を充電するのにもピッタリでした。

あのカーテンはまだそのまままでしようか？

生徒会や学院祭の実行委員をしていたので勉強以外に取り組むことが多く、みんなと同じ時間やペースでは到底過ごしきれませんでした。だから、いつも心がけていたのは自分のペースを大切にして、しんどいときは無理をせず、素直に先生や友だちに助けを求めました。

高校時代に受けたシスター宮本

自主性を持つて勉強する
大切さを学んだ

ターアーチストとして活躍中の佐島さん。紙や素材を使ったヨーロピアンアートは高い評価を得て、NHK+BBSの番組タイトルやジャニーズの人気歌手オカムラユニット『テゴマス』

母の勧めもありますが、私は基本的にマイペースでのんびり屋さんなので、学校を見学した瞬間、のびのびと過ごせそうな気がしました。初めて訪れた聖堂の香

キリストの教えに出逢えて思春期を過ごせたこと。「人間を大切にする社会を築く、豊かな人格を持つ女性の育成をめざす」という教えのとおり、先生方からは行動とは?

何?「誠実さとは?」と思いがはない質問をされたことがあります。二つともイメージではわかつていても、具体的に言葉にするのは難しいのですが、自分のアイデーンティティや考えがムクムクします。

——イラストレーターをめざす
きっかけ、進路決定に結びついた
ことは?

たくありませんでした。けれども、高一のとき先生に「あなたはこれからどうしたいの?」と問われ、自分自身に「一体何が好きなの?」、「何が得意なの?」と問い合わせてきました。すると幼い頃から大好きだった『お絵描き』にたどり着いたのです。また、私が通っていた幼稚園の先生は、子どもの感覚や個性を受け入れ、伸ばすよう見守つてくださる方でした。何を描いても褒めてくださったので、絵を描くことが楽しくてしかたがなかったですね。小学生になるとコマやサイコロなど、おもちゃはすべて紙や身の回りの素材で手作りをして遊んでいました。まわりの大人に否定されることなく、自由にできたのは中学校に入つても同じ。結果「大好きな絵を描き、自分を磨けるのなら大学で学びたい」と美大進学を決めました。勉強が「やらなければならないからやりたいことをやるためにする」に変わったのです。ちょうどその頃、生徒会や学院祭の実行委員などもしており、「意志や意思」が自ら歩きはじめ、積極的に行動するようになっていました。

——合格を勝ち取った決め手、苦手科目の克服法は?

元々私は苦手なことより、得意

な部分をがんばるタイプでした。が、苦手科目の克服については大學進学のために、絶対に「やらなければならること」でした。美術系の大学をめざすには、「好き」だけでは乗り切れない、基礎的な技術の習得が必要だったのです。そのためには苦手なデッサンやベースの取り方(遠近感を出して描く)の練習から逃げられませんでした。ティッシュの箱とリボンを置き、遠近感や立体感を出したパースの取り方(遠近感を出して描く)の練習から逃げられませんでした。ティッシュの箱とリボンを置き、遠近感や立体感を出した

——最後に後輩たちにメッセージを!

強をしました。また、私は1年間浪人をしたので美術系の予備校に通っていました。毎朝5時位に起き、お弁当を作つて電車にのり、校門が開くと同時に入ると、教室に組まれたモチーフセットがもつとも見やすい場所をとり、授業の合間やときには1日中、教室にこもつて制作したものであります。あの頃は自分でも本当によくやつたと感心するくらい(笑)。結果、合格の決め手は自主性と潔さだったのかなと思います。

——将来の夢、その実現のために今がんばっていることは?

生活や作品に、自分なりのエッセンスや空気をいかに注ぐかです。

イラストレーターやアーチストは、人の手から産み出される仕事なので、技術もさることながら、自分が見て感じたすべてが創作活動につながっていきます。だから、旅に出たり、映画をみたり、友だちと遊んだり、写真を撮ったり、料理をしたり、ショッピングをしたりと、自ら発する興味や好奇心の「電波」に対して、敏感に反応したいと思っています。そして、普段から人とのご縁や繋がりを大切にするよう心がけています。

——最後に後輩たちにメッセージを!

部活や生徒会活動もそうですが、勉強以外に好きなことを見つけてください。自分の中にある「もしも○○だったらどうなるか」とか、「ちょっとと気になる」といった声に気づき、興味を持つてください。自分が「ちょっとと気になる」ところをつぶやいてね。たとえば、料理が好きなら毎日お弁当を作るのもいいでしょう。中高時代は、自分のペクトルをあつちにこつちに向けられる自由な時間だから、どんな小さなことでもやつてみればいいと思います。他人がなんと言おうとも自分を否定せずに信じ、未知なる自分をおおいに楽しんでください。私もまだまだその道中です。好奇心を大切に、ともに楽しめましょう!

TOYOTA 2013 カレンダー



子ども時代は何でも紙で手作りし、学生時代はノートの表紙にいろいろな素材を貼り合わせ、デコレーションしたのがコラージュとの出会いです。思い描いたものをすぐ作品に表現するのが楽しいです。

2012年度表彰一覧 (2013年2月現在)

小学校表影一覽